

タイトル	赤松林の伐採跡地を活用したオオムラサキ生息適木の植樹による森林再生	
概要	伐採跡地を保全し、エノキ、クヌギ等、オオムラサキの生息適木を植樹することで昆虫の森として復元。	
管理方法・技術的視点	<p>赤松が用材として価値が上昇しているため、赤松林の伐採が加速している。伐採跡地が放置される傾向があるため、保全管理を実施している。3, 4年ほうっておくとササが生い茂ってしまうため早めの対策が大切になっている。</p> <p>整備作業は、アズマネザサの除去作業が中心。伐採されたササが大量に発生するが、そのまま一列に集めて放置し2年で落ち着かせる。その後伐採地にはオオムラサキの生息適木であるエノキ・クヌギ・コナラを植樹し、昆虫が生息できるような森への復元を行っている。</p>	
備考	<p>高齢化で手入れができない雑木林を手入れしている。間伐等その他、ササの除去作業を行っており、地域でも感謝される取り組みとなっている。またセンターでは、伐採木を活用し、シイタケ等のキノコ栽培や炭焼きなどを行っている。センターに新たに設置するカフェ等において食材利用し周辺の観光地の物産との調和を図りつつセンター来訪客への提供を検討している。</p>	<p>創出された里山林環境に集まるオオムラサキ</p> 
場所・主体	山梨県北杜市 オオムラサキセンター	
URL等	<a href="http://oomurasaki.net/satovama.php">http://oomurasaki.net/satovama.php</a>	